

簡易ひずみ計による地殻変動観測

Observations of ground deformation used simple-scale strain-meters

尾上 謙介 [1]; 細 善信 [2]; 松尾 成光 [3]; 森井 互 [4]; 石井 紘 [5]

Kensuke Onoue[1]; Yoshinobu Hoso[2]; Shigemitsu Matsuo[3]; Wataru Morii[4]; Hiroshi Ishii[5]

[1] 京大・防災研・地震予知研究センター; [2] 京大・防災研・地震予知センター; [3] 京大・防災研; [4] 京大・防災研・地震予知; [5] 東濃地震科研

[1] Research Center for Earthquake Prediction, Kyoto Univ.; [2] RCEP, DPRI, Kyoto Univ.; [3] DPRI, Kyoto Univ.; [4] RCEP, DPRI, Kyoto-Univ.; [5] TRIES

地震発生に関連するテクトニックな地殻変動を検出するにはS/Nの良い、多点による高感度の地殻変動観測が必要と考えられる。そして気象変動等の影響を小さくするためには、地中深く、長い観測坑道を必要とするが、ひずみ計設置のための長いスパンを確保するのは困難である。またこれまでのひずみ計や傾斜計による地殻変動観測を行うには多額の経費が必要で、多くの観測点を展開することは難しい。我々は既設のトンネル内に簡便に設置でき、観測が行えるスパンが1メートル以下の簡易ひずみ計を開発した。簡易ひずみ計には石井等が開発したメカニカル拡大システムが適用されて、数十メートルスパン相当のひずみ計となると考えられる。逢坂山観測所において既設の長スパンひずみ計と比較観測を行った結果、ほぼ同等の記録が得られることがわかった。